



2025年11月7日

各位

会社名



新東株式会社

代表者名 代表取締役社長 石川 達也

(スタンダード市場・札幌コード、5380)

問合せ先 取締役管理部長 早川 正

電話 0566-53-2631 (代表)

第2四半期（中間期）業績予想及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2025年8月8日に公表いたしました2026年6月期第2四半期（中間期）業績予想及び通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2026年6月期第2四半期（中間期）個別業績予想の修正

(2025年7月1日～2025年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	2,308	56	52	26	36.74
今回発表予想（B）	2,254	9	23	6	8.48
増減額（B－A）	△ 54	△ 47	△ 29	△ 20	
増減率（%）	△ 2.3	△ 83.9	△ 56.0	△ 76.9	
(ご参考) 前期実績 (2025年6月期第2四半期（中間期）)	2,436	72	72	50	71.68

2. 2026年6月期通期個別業績予想の修正

(2025年7月1日～2026年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	4,530	55	45	20	28.26
今回発表予想（B）	4,504	49	56	30	42.40
増減額（B－A）	△ 26	△ 6	11	10	
増減率（%）	△ 0.6	△ 10.9	24.4	50.0	
(ご参考) 前期実績 (2025年6月期)	4,627	105	104	70	99.06

3. 修正の理由

(1) 第2四半期(中間期)

売上高につきましては、国土交通省が発表している新設住宅着工戸数における持家は、直近3ヶ月間で前年同月比平均10%以上の減少となっております。この影響を受け、当社においても当初見込んでいた出荷数量が減少し、売上高が計画を下回る結果となりました。

利益面につきましては、出荷量が当初想定を下回ったことにより在庫が増加しました。これに伴い、生産調整の一環として一部ラインの稼働を抑制した結果、休止に係る固定費等が増加し、利益を押し下げる要因となっております。

このため、業績予想を上記のとおり修正するものであります。

(2) 通期

第1四半期の業績動向を踏まえ、当第63期通期の業績予想を修正いたします。また、2025年10月14日に公表いたしました「建物賃貸借契約の締結に関するお知らせ」に記載のとおり、同契約に基づく売上も反映しております。

4. 今後の見通し

第2四半期以降は、需要動向に応じた柔軟な生産体制への転換を進めるとともに、在庫圧縮およびコスト削減を重点課題として取り組んでまいります。併せて、営業力の強化や品質管理の徹底に注力するとともに、2025年10月14日に公表いたしました建物賃貸借契約に基づく売上も加味し、収益の早期回復と安定的な事業運営の確立を図ってまいります。

※上記の予想は、本資料発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものでありますので、実際の業績は今後の様々な要因によって、異なる可能性があります。

以 上